

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 カニバダム市障がい児リハビリセンター建設計画供与式報告

平成29年10月18日、「カニバダム市障がい児リハビリセンター建設計画」の供与式がカニバダム行政郡で行われました。供与式にはカニバダム市長、ソグド州副知事、タジキスタン障がい者協会会長をはじめ、大勢の地域住民が参席し、日本の支援に対する感謝の意が示されました。

本計画対象のカニバダム市では現在、380人を超えるあらゆる種類の障がいを持つ児童が登録されています。しかし、そのような児童がリハビリを受けるための施設がなかったため、80km離れたホジャンド市や390km離れたドゥシャンベ市まで行かなければならない状況でした。実際には経済的問題や移動の困難さから、ほとんどの子どもは必要なリハビリが受けられないでいました。

今般、本計画実施により、カニバダム市及び近隣に暮らす障がいを持つ子どもたちは必要なリハビリを受けることができるようになりました。



タジキスタンの伝統であるパンと蜂蜜による
歓迎を受ける筒井書記官。



テープカットの様子。



子どもたちからは詩の朗読によって日本の支
援に対する感謝の意が示された。



リハビリセンター外観。